平成　29　年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート（様式1）

提出日		H29.7.4	
担当	課名	防災地域支援課	
	グループ名	防災地域支援グループ	
	記入者名		

1　事業概要

(1)事業名	常備消防費	(2)事業種別（新規・継続）	継続
		(3)事業性格（政策・一般）	一般事業

(4)第5次総振での位置づけ		(5)予算・財源等の別	
①基本目標	生活環境の整備	①会計区分	一般会計
②大項目	消防・防災	②財源区分	町単独
③中項目	消防体制の強化	③予算科目	款 9　項 1　目 1
④施策		④予算事業名	常備消防費
⑤施策コード	4・6・1・0　掲載ページ 102 ページ		

(6)実施根拠		(7)総合戦略	
①事務分類（自治・受託）	自治事務	①総合戦略（該当事業名）	無
②根拠法令	消防法		
③事業期間	開始　不明　年　月から	終了	未定　年　月まで

2　事業の目的・対象及び内容

(1)目的（何のために行うか）	(3)手段（内容・どのような取り組みか）
・消防活動の推進により、町民の安全と安心を確保する。	・比企広域消防本部の経費（職員の人件費、施設・設備等の維持管理運営費等）負担。
(2)対象（誰に対して、何に対して行うか）	**(4)成果イメージ（どのような状態になることを目指すか）**
・全町民	・町民の生命と財産を守る。 ・火災発生件数の減少と焼失面積の減少。
対象数　30,982(H29.4現在)　単位　人	

(5)事業を取り巻く環境（社会環境、町民ニーズ等）、団体、議会等からの要望など

少子高齢化や人口減少に伴い、全国的に消防団員数が減少傾向にある中、消防職員の増強や資質の向上に努める等消防力の強化が課題となっている。

3　事業のコスト（実績・予算・決算）

（単位：千円）

項目 ＼ (1)事業(内容) 名称		常備消防費				
	決算・予算年度	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算
(2)事業費内訳	負担金	467,591	451,869	463,606	453,725	442,623
	報償費	0	0	0	0	0
	需用費	0	0	0	0	0
	役務費	0	0	0	0	0
	委託料	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	直接事業費合計	467,591	451,869	463,606	453,725	442,623
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	467,591	451,869	463,606	453,725	442,623
	合計	467,591	451,869	463,606	453,725	442,623
(4)補助金名						
(5)人件費						
	投入職員数	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	年間人件費	823	839	819	805	772
(6)総事業費		468,414	452,708	464,425	454,530	443,395
サービス量（人）		32,589	31,998	31,386	30,982	30,982
サービス単価		14.4	14.1	14.8	14.7	14.3
（単位）		町民1人あたり				

4 指標の検証（活動指標・成果指標）

常備消防費

指標名		単位	27年度決算	28年度決算	29年度予算積算
（1）活動指標（実施した事業の量：回数、延長、面積等）					
指標名	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				
（2）成果指標（実施した結果として得られた成果の量と達成度：人数、世帯数、件数、団体数、コスト指標等）					
指標名	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

（3）その他指標に現れない成果

本事業は町が推進する「広域行政の充実」のうち、「既存の連携体制の充実」を構成する一事業。比企広域消防本部により近隣自治体との共同処理を実施する事務。

5 事業評価

（1）項目別評価

評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他（）
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他（）
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業を行うのに民間活力（企業、NPO、ボランティアなど）を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他（）
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他（）
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	1	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他（）
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他（消防・防災体制に必要不可欠な事業であり、効果がある。）
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他（）

（2）総合評価（上記結果を踏まえて、問題点や課題を記載してください。）

今後起きうる大規模災害に備えて、消防署と町の連携を日頃から強める必要がある。

6 事業の方向性の判断

1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合

評価主体	（1）一次評価（担当課長）	（2）二次評価（政策推進課長）	（3）最終評価（町長）
評価	2		
説明	引き続き消防力の向上に努める。		